

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会社名 スカイマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 西久保 慎一
(コード番号 9204 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経理本部長 有森 正和
(TEL:03-5708-8280)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 14 日に公表した平成 22 年 3 月期 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日) の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	40,000	2,100	2,000	1,500
今回修正予想 (B)	41,000	3,100	3,000	2,000
増減額 (B - A)	1,000	1,000	1,000	500
増減率 (%)	2.5%	47.6%	50.0%	33.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	42,316	2,543	2,389	2,040

2. 修正の理由

平成 22 年 3 月期通期の業績予想について、最近の業績動向や事業構造を踏まえて予想した結果、変動が生ずることとなった為、見直しを修正いたします。

経済状況の影響による国内旅客需要が低迷する中、当社の運航する主要路線の搭乗者数は回復基調にあることから、旅客収入の増加を見込んでおります。

また、B737-800 型機への機種統一が計画どおり進捗しており、平成 21 年 11 月には最後の B767-300 型機を返還し、平成 21 年 12 月より B737-800 型機 (12 機) に統一された運航体制になります。これにより、B767-300 型機の返還に伴う費用が減少すると同時に、燃費効率の良い B737-800 型機の運航により、燃料消費量の圧縮や、整備費、着陸料等のコスト削減が確実なものとなる見込です。その他、運航乗務員・整備士訓練施設 (B737-800 型機フルフライト・シミュレーター)、客室乗務員訓練施設 (モックアップ) の稼動に伴う運航乗務員・整備士・客室乗務員に係る訓練関連費の抑制が予想されることから、総体的な事業費の削減が実現するものと見込んでおります。

以上のことに加え、原油価格情勢や為替動向等の要因を勘案した総合的な判断により、上記の通り業績予想を変更いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上